

# 平成19年度 バランス・スコアカード

病院名	成人病センター							
モットー	ふれあう心で確かな医療							
理念	心のふれあいを大切にして安心と満足と信頼の得られる医療の提供							
平成21年度に目指すべき姿	3大生活習慣病に対する全県の特約病院として、特に死亡率の高いがん医療に力を入れ、質の高い、患者に満足していただける医療の提供を目指す。 急性期医療機能の充実による収益の向上を図るとともに、コスト管理を徹底し、効率的な業務運営による費用の削減を図り、経営の改善に努める。 職員の能力向上とコミュニケーションの活性化を図り、やりがいをもって仕事ができる魅力ある病院を目指す。							
区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	業績評価指標	H18実績値(見込み)	H19目標値	H21目標値	主なアクションプラン
顧客の視点		患者満足度の向上 病院機能の充実 地域信頼度の向上 医療安全の徹底	患者満足度調査の評価の向上 がん医療の充実・強化 地域連携の推進 医療事故の未然防止 情報提供の充実	患者満足度調査評点 退院患者に占めるがん患者割合 紹介率 逆紹介率 医療安全推進チーム委員会の開催 ホームページアクセス数	外来4.1 入院4.4 (27.2%) 44.5% 45.6% 年10回 7,875件/月	4.5以上 4.5以上 28% 45% 46% 年11回 7,900件/月	4.5以上 4.5以上 30% 48% 47% 年12回 8,000件/月	患者満足度調査、患者待ち時間調査の実施・結果分析・改善意見箱「そよ風」の分析・評価 ・地域がん診療連携拠点病院の指定更新(平成19年度) ・相談支援センターの設置・運営(設置は平成19年度) ・地域の医療関係者を対象とした研修会の開催 ・公開症例検討会の実施 ・在宅医療との連携 ・地域の医療機関への積極的な情報提供 ・インシデント、アクシデントレポートの分析 ・院内ラウンドの実施 ・医師のインシデント、アクシデントレポート提出率の向上 ・適時適切な情報の掲載 ・掲載内容の充実(医師の紹介、診療実績等、患者の視点に立った情報の掲載)
財務の視点		収益性の向上 収益の確保 費用の削減	収益性の向上 平均在院日数の短縮 新規入院患者の確保 診療報酬の査定率の減 効率的な運営 後発医薬品採用の推進	医業収支比率 平均在院日数 新規入院患者数 診療報酬請求の査定率 診療収益に占める材料費の割合 診療収益に占める経費の割合 後発医薬品の採用品目数	86.5% 16.2日 7,809人 0.139% 35.3% 23.1% 119品目	88% 16日 8,000人 0.13% 32.4% 22% 140品目	91% 15日以内 8,500人 0.1% 31% 21% 170品目	・DPC導入によるコスト管理手法の確立 ・DPCコスト情報等の提供による経営参画意識の醸成 ・医療の標準化、効率化による在院日数の短縮 ・病床管理者による適正な病床管理の実施 ・地域医療機関との連携強化 ・保険医療委員会、レセプト検討会において、査定率減に向け検討 ・購買監査の実施等によるコスト削減 ・業務委託内容の検討、施設等管理委託業務の複数年契約の検討 ・安全性に関する情報提供等により、後発医薬品使用の推進
内部プロセスの視点		診療体制の充実 医療の質の向上 医療の標準化 目標管理の徹底	医師の確保・育成 看護体制の充実 医療の質の向上 クリティカルパスの推進 BSCの活用による経営参加意識の醸成およびコミュニケーションの活性化	専攻医医師数 研修医医師数 看護師離職率 病院機能評価自己評価 クリティカルパス作成件数 評価指標数値の管理	10人 6人 12.0% 各評価項目評価3以上 127件 -	18人 16人 10%以下 各評価項目評価3以上 135件 四半期毎	18人 16人 10%以下 各評価項目評価3以上 160件 四半期毎	・先進施設への研修派遣、キャリア形成支援の実施 ・看護師の確保対策の充実 ・24時間保育の本格実施(平成19年度) ・キャリア形成の支援 ・自己評価の実施 ・次期バージョンに向けての取組 ・クリティカルパス作成および活用の推進 ・BSCの進行管理の実施(四半期毎に評価)
学習と成長の視点		職員の意識改革 人材の育成	改善意識の向上 職員のスキルアップ	職員提案応募件数 新規専門資格取得者数	12件 3人	20件 7人	30件 7人	・職員の業務改善意識の醸成 ・計画的な院内研修の実施 ・院外研修への参加奨励 ・専門資格取得支援

